

- 都市のみどりをみんなで支え、自然と共存して生きる -
[環境基本計画の基本方針2]

4 みどりの保全・育成

(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概況

<農地・樹林>

平成16年度の市内の畑地目(農地)面積は約177haです。このうち約80%に当たる面積が生産緑地として指定されています。農地の利用状況としては、キャベツ、ほうれん草、花卉、植木などの生産が中心です。

また、市民が農業をできる場として市民農園や家族農園が設置されています。平成16年度からは農家の指導を受けながら野菜栽培等ができる「農業体験農園」を開園しました。

さらに、屋敷林や雑木林は、緑地保全地域や保存樹林などとして保全が図られています。

<緑地や公園>

(仮称)合併記念公園[現在「西東京いこいの森公園」]は、西東京市の誕生に伴うシンボルとして整備が行われました。また、下野谷遺跡は、文化財として貴重であり、遺跡として保存・公園化を進めています。



整備中の(仮称)合併記念公園(西東京いこいの森公園)

<街並みのみどり>

公園については、利用者である市民が管理活動に参加することが多く、西東京市においても「公園管理協力会員」制度を進めていくと同時に、住宅地のみどりに関しては、生垣造成に対する助成などにより推進しています。

環境指標の状況

区 分	平成14年度値	平成15年度値	平成16年度値
(1) 緑被率	30.2%(478 ha) (平成11年度値)		
(2) 公園面積	18.25 ha	18.33 ha	18.65 ha
(3) 樹林地面積	189.6ha (平成11年度値)		
(4) 保存樹木本数・樹林面積	1,189 本・32,117 m ²	1,163 本・30,298 m ²	1,166 本・29,408 m ²
(5) 保存生垣延長	8,053.1 m	8,367.3 m	8,086.2 m
(6) 生産緑地面積	153 ha	150 ha	147 ha
(7) 畑地目(農地)面積	186 ha	182 ha	177 ha
(8) 市民農園及び家族農園数	10 か所 2.1 ha	8 か所 1.9 ha	8 か所 1.9 ha

(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

整理番号	1	みどりの基本計画については「用語解説」の83頁を参照										
事業名・担当課		事業目的・内容等										
みどりの基本計画策定 都市整備部 公園緑地課	【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】					
	計画的なみどりのまちづくりの推進のため、みどりの基本計画を策定していく。平成15年度に策定予定。			みどりの基本計画を策定した。			みどりの基本計画に基づき事業を実施した。					
整理番号	2	事業目的・内容等										
西原自然公園植生管理事業 都市整備部 公園緑地課		【平成14・15・16年度】 市内でも数少ない貴重な樹林を有する「西原自然公園」を、間伐による適正な林分密度管理などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働して植生管理を実施した。										
整理番号	3	保存状況は「事務事業の実績」の53頁を参照										
事業名・担当課		事業目的・内容等										
樹木・樹林・生垣の保存 都市整備部 公園緑地課	市内のみどり保存のため、市民の財産と考える貴重な樹木等の維持管理に対して補助等を行う。 緑化審議会での保存樹木等の指定・解除について審議 保存状況 保存樹木の要件：地上1.5mの高さでの幹の周囲が1.5m以上のもの 木の高さが15m以上のもの 株立ちした樹木で、その高さが3m以上のものはん登性樹木で、枝面積が30㎡以上のもの 特異な樹木で、高さが3m以上の保存に値するもの 保存樹林の要件：樹林の集団で、土地面積が100㎡以上のもの 保存生垣の要件：生垣を形成する樹木の集団で、その長さが10m以上のもの											
	区分	【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】				
	指定	解除	延べ	指定	解除	延べ	指定	解除	延べ			
樹木	45本	66本	1,189本	10本	36本	1,163本	11本	8本	1,166本			
樹林	1か所	2か所	35か所	0か所	1か所	34か所	0か所	1か所	33か所			
生垣	8か所	8か所	168か所	23か所	4か所	187か所	6か所	5か所	188か所			
整理番号	4	事業目的・内容等										
事業目的・内容等		事業目的・内容等										
生垣造成助成事業 都市整備部 公園緑地課	ブロック塀から生垣につくり替える、あるいは新たに生垣をつくる方へ造成費の補助を行う。 補助額：1m当たり1万円											
	区分	【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】				
	生垣助成件数(延長)			41件(延長394.2m)			11件(延長143.3m)			10件(延長144.2m)		

整理番号	5													
事業名・担当課		事業目的・内容等												
緑地保全地区 樹林地の保全		山林を保全することで、自然空間、防災避難空間を確保し、みどりあふれる都市環境を確保するため、山林保全指定を行い、固定資産税及び都市計画税の減免を行う。												
都市整備部 公園緑地課		【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】						
		山林保全地区 10,726 m ² (7か所)			山林保全地区 8,730 m ² (6か所)			山林保全地区 8,730 m ² (6か所)						
整理番号	6	所在地などについては「事務事業の実績」の41頁を参照												
事業名・担当課		事業目的・内容等												
市民農園と家族農園 の運営		市民の農業への理解とうるおいのある生活、都市空間の醸成を図るため、市民農園、家族農園の運営を図る。												
市民生活部 産業振興課		市民農園：市が農地を借り上げたものを市民に開放しているもの 家族農園：農地の所有者自身が市民に開放しているもの												
		【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】						
		区分	設置	面積	区画	設置	面積	区画	設置	面積	区画			
		市民農園	4か所	7,226 m ²	261	4か所	7,226 m ²	261	4か所	6,541 m ²	237			
		家族農園	6か所	14,270 m ²	701	4か所	11,672 m ²	504	4か所	11,672 m ²	504			
整理番号	7													
事業名・担当課		事業目的・内容等												
優良農地育成事業		農業振興及び農地による自然空間の確保を図るため、保存協定(市内に所在する生鮮農産物等の生産性の高い農地で、かつ自然空間の確保の上からも、野菜、果樹、植木を生産する場として保全する必要があると認められる農地のうち、0.2ha以上で、都市と調和する農業経営が4年以上継続される見込みのある農地を対象)を締結し、当該地域における農業用構築物の設置費や農機具の購入費等の一部を補助する。												
市民生活部 産業振興課		優良農地育成事業												
		【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】						
		対象者 15人 施設 ハウス、トラクター等			対象者 16人 施設 ハウス、トラクター等			対象者 15人 施設 ハウス、トラクター等						
整理番号	8	設置状況は「事務事業の実績」の52頁を参照												
事業名・担当課		事業目的・内容等												
公園等の設置		市民の憩いの場である公園等を新たに設置した。												
都市整備部 公園緑地課		【平成14年度】			【平成15年度】			【平成16年度】						
		下保谷第二ポケットパーク (106.82 m ²) 下保谷第三ポケットパーク (66.03 m ²) さくら公園 (2,500.29 m ²) 新町第一公園 (197.82 m ²)			谷戸二丁目第1公園 (404.00 m ²) 中西台公園 (235.91 m ²) 北町第五公園 (221.54 m ²)			上保谷新田公園 (965.00 m ²) 谷戸二丁目第2公園(1,040.03 m ²) 緑町二丁目第4公園 (227.55 m ²) 緑町二丁目第5公園 (204.83 m ²) 西原三丁目第1公園 (202.62 m ²) 芝久保一丁目第3公園(124.19 m ²) 芝久保一丁目第4公園(398.50 m ²)						
整理番号	9													
事業名・担当課		事業目的・内容等												
(仮称)合併記念公園 の整備		東京大学原子核研究所跡地を購入し、合併を記念した公園の整備を実施した。												
都市整備部 公園緑地課		(仮称)合併 記念公園整備 事業用地 買収			【平成14年度】 面積 15,728.04 m ² 費用 3,166,000,000円			【平成15年度】 買収事業なし 平成17年度開園予定の ため整備中			【平成16年度】 平成17年度開園予定の ため整備中			

整理番号	10	事業目的・内容等		
事業名・担当課	生産緑地の指定			
都市整備部 都市計画課	生産緑地の指定・保全を行った。			
	【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】	
	買取申出 12件 16,922㎡ (買取実績なし) 指定 318地区 152.66ha	買取申出 16件 23,932㎡ (買取実績なし) 指定 317地区 149.68ha	買取申出 10件 14,588㎡ (買取実績なし) 指定 325地区 146.58ha	
整理番号	11	事業目的・内容等		
事業名・担当課	花いっぱい運動の支援			
都市整備部 公園緑地課	【平成14・15・16年度】			
	西東京市花いっぱい運動(市民が参加して公園等の花壇に年間を通じて花を植え、手入れを行う)に対して、希望する公共用地を認可し子どもたちの遊びに支障のない場所に簡易な花壇を設置し、花苗、種子等の支援を行った。			
整理番号	12	事業目的・内容等		
事業名・担当課	市民苗木配布の推進			
都市整備部 公園緑地課	樹木の苗木を自宅に植えて、育ててもらい、市内により多くのみどりを増やすため、市民まつりにおいて市民に無料で苗木を配布した。			
	【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】	
	平成14年11月10日「市民まつり」においてブルーベリーほか35種類、3,148本の苗木を無料配布した。	平成15年11月9日「市民まつり」においてブルーベリーほか38種類、2,385本の苗木を無料配布した。	平成16年11月14日「市民まつり」においてブルーベリーほか30種類、2,265本の苗木を無料配布した。	

コラム

屋上・壁面緑化の取組み

ヒートアイランド現象を緩和していくためには、地上部分に緑を増やすことが必要であると言われています。中でも屋上緑化や壁面緑化は、建築物の表面温度を下げる効果があるとして有効な手段であるとされています。

東京都では、自然保護条例に基づき、平成13年3月から1,000㎡(公共施設は250㎡)以上の敷地において建築物の新築や増改築をする場合には、敷地及び建築物の屋上・壁面などの緑化を義務付けています。これによって平成17年1月1日までに、屋上緑化が544ha生まれています。

また、既存の建築物における緑化をすすめることも有効ですが、屋上緑化は建物の加重制限や屋上スペースの制約などの課題があることから、壁面に対する緑化が注目されています。市内でも小学校に「緑のカーテン」として、校舎の壁面を緑化していくことを検討しています。



5 水辺環境の保全

(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概況

<水辺環境>

市の水系としては、北部に白子川、中央部に新川(白子川支流)など、南部に石神井川があり、武蔵野市との境界に玉川上水、千川上水が流れています。これらは、新河岸川あるいは隅田川に合流し、東京湾へ流入します。西東京市は、水源として古くから地下水が盛んに利用されてきました。現在でも地下水を水道水源の一部として利用しています。



石神井川

雨水を地面に浸透させることは、洪水防止、地下水の涵養^{かんよう}など、自然の水の循環を確保することにつながりますが、都市化が進んだ結果、地上に降った雨は地下に浸透しにくくなっています。



千川上水

市内の河川水質をBODで見ると、石神井川の溜漕橋でかなりきれいな水質(平成16年度は年平均値0.9mg/)ですが、それ以外では基準値の5mg/以上となっています。

環境指標の状況

区 分		平成14年度値	平成15年度値	平成16年度値
(1)	河川水質【BOD濃度】	5.8 mg/	5.5 mg/	5.6 mg/
	基準値等 = 5.0 mg/ 以下	0.8 mg/	1.3 mg/	0.9 mg/
(2)	河川流量	0.029m ³ /s	0.035m ³ /s	0.048m ³ /s
		0.026m ³ /s	0.188m ³ /s	0.269m ³ /s
(3)	透水性舗装面積(延べ)	5,716 m ²	8,331 m ²	6,981 m ²
(4)	上水道の使用量	19,048 千m ³	19,109 千m ³	19,607 千m ³

(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

整理番号	1	浸透ますは「用語解説」の81頁を参照		
事業名・担当課	事業目的・内容等			
雨水浸透ます設置の促進 都市整備部 下水道課	雨水溢水対策の一環として、各戸浸透ます設置の助成事業を行い、雨水への対策意識の向上を図った。 対象物件：敷地面積が1,000㎡未満の既存の住宅、店舗兼住宅を所有している者			
	【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】	
	浸透ます設置助成件数等 ・41件(129個設置) ・助成費 4,274,492円	浸透ます設置助成件数等 ・39件(127個設置) ・助成費 4,285,002円	浸透ます設置助成件数等 ・42件(130個設置) ・助成費 4,280,010円	
整理番号	2	透水性舗装は「用語解説」の82頁を参照		
事業名・担当課	事業目的・内容等			
透水性舗装の実施 都市整備部 道路管理課	透水性舗装を実施した。			
	【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】	
	5,716㎡	8,331㎡	6,981㎡	
整理番号	3			
事業名・担当課	事業目的・内容等			
水洗化の促進 都市整備部 下水道課	河川の水質汚濁の改善や公衆衛生の向上を図るため、地道な広報活動や未水洗理由の把握に努めることによって、くみ取り便所から水洗便所への改造、浄化槽の公共下水道への接続を促進する。			
	内 容	【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】
	水洗便所改造資金 助成補助金交付件数	2件	0件	0件
整理番号	4			
事業名・担当課	事業目的・内容等			
水質の安全確保 水道部工務課	水道水の安全確保のため、都及び西東京市で水質管理を行った。			
	【平成14・15・16年度】			
	(1)毎日検査(残留塩素・色・濁り) (2)項目検査 水道法に基づく水質基準項目検査-46項目(基準値、毎月・年定期検査) 快適水質項目検査-5項目(目標値、毎月・年定期検査) 監視項目-33項目(指針値、毎月・年定期検査) 自己水源井の水質検査-12項目			
整理番号	5	調査数値・測定場所は「事務事業の実績」の45頁を参照		
事業名・担当課	事業目的・内容等			
水質調査の実施 環境防災部 環境保全課 (再掲)	環境汚染から市民生活を守るため、環境の実態を把握し問題の早期発見に努めるとともに、環境モニタリングを定期的に継続して実施していく。			
	調 査 項 目	【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】
	河川水質調査	4か所	4か所	4か所

6 自然とのふれあいの確保

(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概要

<自然とのふれあい>

市が実施した、環境に対する市民意識調査(平成15年3月)では、自然に関する市民の満足度は比較的高くなっています。しかし、市民の自然とのふれあい活動は、身近にふれることのできる自然が減少したこともあり、行われなくなってきている状況と推測されます。



東大農場

市では、自然観察会の開催により、市民の自然とのふれあいの促進を図っています。平成16年度(2004年度)は延べ75名の方が参加しました。

(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

整理番号	1	事業目的・内容等		
事業名・担当課		事業目的・内容等		
自然観察会の実施 都市整備部 公園緑地課 公民館	市民対象の自然観察会を実施した。			
		【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】
		公園緑地課実施 平成14年11月18日 (都立小峰公園・広徳寺周辺) 晩秋の秋川丘陵の小峰公園・広徳寺周辺を講師の説明を聞きながら散策し、歴史、自然保護について学び、みどりの維持管理について考えた。 市民35人参加 芝久保公民館実施 平成14年8月28日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民65人参加	公園緑地課実施 平成15年11月27日 (横浜自然観察の森) 貴重なみどりや動植物が減少しつつある中、みどりの重要性を再認識し雑木林や緑地に生息する、小動物等を観察し、身近な自然を守ることの大切さについて考えた。 市民31人参加 芝久保公民館実施 平成15年8月28日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民43人参加	公園緑地課実施 平成16年11月19日 (小山田緑地) 貴重なみどりが減少しつつある中、みどりや生き物が保全されていて、多摩丘陵の原風景が残っている豊かな山野草に恵まれた雑木林や谷戸の田んぼ等を散策し、自然を守ることの大切さを探る。 市民32人参加 芝久保公民館実施 平成16年8月27日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民43人参加

7 歴史的・文化的環境資源の確保

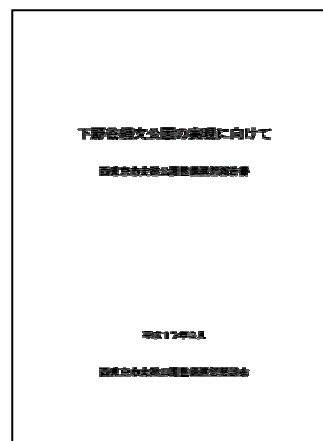
(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概況

先人たちによって残され、現在に伝わる歴史的、文化的資源については、自然環境の保全という観点からも保存を進めるとともに、市民の文化財に関する意識を醸成することが必要です。

現在は、市内に2か所ある郷土資料室を統合して、西原総合教育施設(旧西原第二小学校)に移転、開設しました。

また、縄文遺跡である下野谷遺跡を史跡公園として保存・活用していく方法を、専門家や市民を交えた「史跡公園整備構想懇談会」で検討を重ね、17年3月に「西東京市史跡公園整備構想報告書」が報告されました。



(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

整理番号	1	展示内容は「事務事業の実績」の58～59頁を参照		
事業名・担当課		事業目的・内容等		
郷土資料室の活用		市内にある郷土資料室を広く一般に公開した。		
		【平成14・15年度】		【平成16年度】
生涯学習部 社会教育課		郷土資料室の開室 文化財ウィーク郷土資料室出前企画展 東伏見小学校郷土資料室一般公開		郷土資料室の開室 文化財ウィーク郷土資料室出前企画展
整理番号	2	調査内容は「事務事業の実績」の57～58頁を参照		
事業名・担当課		事業目的・内容等		
下野谷遺跡の埋蔵文化財調査		歴史的文化遺産である遺跡の調査を実施した。		
		下野谷遺跡の調査		
		【平成14年度】	【平成15年度】	【平成16年度】
生涯学習部 社会教育課		対象面積 約84㎡ 対応 試掘調査 調査日程 平成14年7月11日～12日 調査面積 9㎡	対象面積 3㎡ 対応 試掘調査 調査日程 平成16年1月13日 その他2回実施	対象面積 73㎡ 対応 立会調査 調査日程 平成16年7月8日 その他5回実施